

ヒブ（インフルエンザ菌b型）・小児用肺炎球菌ワクチン 定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。

- | | | |
|------------------|---|----------------------|
| 1 対象年齢 | <u>生後2か月～5歳の誕生日の前日まで</u> | |
| 2 接種場所 | 別紙「予防接種協力医療機関」のヒブと肺炎球菌に○印のある医療機関
<u>※医療機関へ事前に予約をしてから接種をしてください。</u> | |
| 3 持ち物 | 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳 | |
| 4 費用 | 無料（公費負担） ※対象年齢を過ぎると実費になります。 | |
| 5 接種間隔・回数 | 接種を開始した月齢によって回数が異なります。 | ※裏面の表をご覧ください。 |

1 ヒブワクチンについて

(1) ヒブ感染症とは

インフルエンザ菌b型（略してH i b）という細菌で発生する病気です。インフルエンザ菌b型はヒトからヒトへ飛沫感染し、乳幼児の化膿性髄膜炎、肺血症、咽頭蓋炎などの重篤な全身感染症を引き起こす原因となっています。毎年冬に流行するインフルエンザと名前が似ていますが全く別のものです。

(2) ヒブによる細菌性髄膜炎とワクチンの効果

ヒブ髄膜炎は5歳未満の乳幼児がかかりやすく、生後4月から1歳までの乳児が過半数を占めていました。初期症状は発熱、嘔吐、けいれん等で他の病気と症状が似ているため早期診断が難しい疾患です。平成22年以前は、年間約400人が発症し、約11%が予後不良とされていましたが、ワクチンの定期接種化により、被接種者の増加と共に激減しています。ヒブワクチンの製造工程にウシ由来の成分が使用されていますが、海外で使用開始されてからワクチンが原因でT S C（伝達性海綿状脳症）に罹ったという報告は現在までありません。

(3) ヒブワクチンの副反応

接種部位の発赤（44.2%）、腫れ（18.7%）、しこり（17.8%）、痛み（5.6%）、全身の反応では、37.5℃以上の発熱（2.5%）、不機嫌（14.7%）、食欲不振（8.7%）などが報告されています。（平成29年4月改訂添付文書参照）

販売開始から令和元年6月30日までに医療機関から副反応の疑い例として報告された内の重篤例の発生頻度は10万接種当たり1.5です。（令和元年9月第43回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料）

2 小児用肺炎球菌ワクチンについて

(1) 小児の肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌は細菌による子どもの感染症の二大原因の一つです。この菌は子どもの多くが鼻の奥に保菌していて、ときに細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、副鼻腔炎、中耳炎、といった病気を起こします。小児用肺炎球菌ワクチンは、90種類以上ある血清型のうち、発生頻度の高い13の型に対応したワクチンとなっています。

(2) 肺炎球菌による侵襲性肺炎球菌感染症

平成25年11月から7価ワクチンから13価ワクチンに切り替えられ、小児侵襲性肺炎球菌感染症は減少してきています。

(3) 小児用肺炎球菌ワクチンの副反応

接種部位の発赤（67.8～74.4%）、腫れ（47.2～57.1%）、全身反応では37.5℃以上の発熱（32.9～50.7%）がみられました。（平成29年4月改訂添付文書参照）平成25年10月28日～平成30年6月30日までに医療機関から報告された内の重篤症例の発生頻度は10万接種当たり1.9です。（令和元年9月第43回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料から）

裏面をご覧ください

《接種間隔・回数》

◎初回接種開始：生後2か月～7か月の日の前日まで

回数	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
《初回》 3回	<p>1歳の誕生日の前日までに、27日以上あけて3回（医師が必要と認めた場合は20日）</p> <p>※標準的接種間隔：27日～56日（医師が必要と認めた場合は20日～56日）</p> <p>※2回目、3回目が1歳の誕生日の前日を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）</p>	<p>2歳の誕生日の前日までに27日以上あけて3回</p> <p>※標準的接種期間：1歳の誕生日の前日まで</p> <p>※2回目が1歳の誕生日の前日を超えた場合は3回目は行わない（追加接種は可能）</p> <p>※3回目が2歳の誕生日の前日を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）</p>
《追加》 1回	<p>初回接種後7ヶ月以上あけて1回</p> <p>※標準的接種間隔 初回接種終了後7ヶ月～13ヶ月</p> <p>※初回を3回終了せずに1歳の誕生日を超えた場合は、初回分の最後の接種後27日以上あけて（医師が必要と認めた場合は20日）</p>	<p>1歳の誕生日の前日以降に、初回接種終了後60日以上あけて1回</p> <p>※標準的接種期間 1歳～1歳3か月の日の前日まで</p>

◎初回接種開始：生後7か月～1歳の誕生日の前日まで

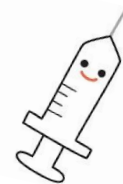
回数	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
《初回》 2回	<p>1歳の誕生日の前日までに、27日以上あけて2回（医師が必要と認めた場合は20日）</p> <p>※標準的接種間隔：27日～56日（医師が必要と認めた場合は20日～56日）</p> <p>※2回目が1歳の誕生日の前日を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）</p>	<p>2歳の誕生日の前日までに27日以上あけて2回</p> <p>※標準的接種期間：1歳の誕生日の前日まで</p> <p>※2回目が2歳の誕生日の前日を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p>
《追加》 1回	<p>初回接種後7ヶ月以上あけて1回</p> <p>※標準的接種間隔 初回接種終了後7ヶ月～13ヶ月</p> <p>※初回接種を2回終了せずに1歳の誕生日を越えた場合は、初回1回目の接種後27日以上あけて（医師が必要と認めた場合は20日）</p>	<p>1歳の誕生日の前日以降に、初回接種終了後60日以上あけて1回</p>

◎初回接種開始：1歳の誕生日～2歳の誕生日の前日まで

ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
1回接種	2回接種（60日以上あけて）

◎初回接種開始：2歳の誕生日～5歳の誕生日の前日まで

ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
1回接種	1回接種



R3.4.1